

研究者の正当な評価と報酬に関する原則の宣言（和文仮訳）

[Statement of Principles on Recognising and Rewarding Researchers]

研究とイノベーションは、近年、大きな飛躍を遂げています。このため、研究とイノベーションを評価するための新たな責任ある方法が求められています。より広範で包括的な研究評価に向けた改革の機運が高まっていますが、そのような改革を実施するために各機関が直面する多くの課題も存在します。これらの課題解決を支援し、研究および研究を行うすべての人を評価する新しい手段と方法へと全世界が動き出すために、GRC 参加機関は以下のことに合意します。

1. 研究、研究機関、研究者、及びその関係者は、学問分野やキャリアステージなど、アセスメントが行われる文脈に応じた、広範かつ全体的な評価・報酬方法により判断される必要があります。
2. 研究者、サポートスタッフ、科学イノベーターに適切に報いるため、多様なスキルや能力を必要とする研究活動、イノベーション、研究成果、アウトカムの多様性を正しく認識する必要があります。資金提供機関は、複数の学問分野や社会の各セクターに広く関与して行われる研究（例：市民科学）を含め、多様なアプローチや知識獲得法を通じて実践される研究の価値を評価しなければなりません。
3. アセスメントの手順は、クオリティやインパクトを評価する可能性のある幅広い研究活動、実践、および研究成果のための余地を作るなど、永続的である必要があります。これにより、研究を実施している者が、従来は必ずしも行われていなかった、研究活動の全範囲において評価されることが保証されます。
4. 研究評価には、第一に定性的なアプローチが必要であり、定量的指標のオープンかつ責任ある使用により支援されます。現行の評価基準やプロセスは、責任ある研究評価法を生み出す目的に合ったものとなるよう、定期的に見直され、必要に応じて修正される必要があります。
5. 責任ある研究のアプローチと実践は、世界の研究エコシステムが、研究の取組みに参画するすべての人にとって包摂的でアクセス可能であるなど、研究のあらゆる側面における平等、多様性、包摂の促進に沿ったものでなくてはなりません。
6. 資金提供機関は、研究評価手順を将来にわたって有効なものとし、文化の変化を促進する上で重要な役割を果たします。これらすべては、研究者、大学、その他の研究実施主体と連携して行われる必要があります。これらの変化において、透明性のあるコミュニケーションと共同立案は、重要な役割を果たします。
7. 研究者の流動性を促進し、研究システムの相互運用性を高めるには、協働的かつグローバルな取組みが必要です。協調したグローバルアクションを通じて、研究者は境界から解放され、地理的な場所、学問分野、セクター間を行き来することが可能になります。

8. 継続的な協働とベストプラクティスの共有は、これらの原則に沿った研究評価手法を一から開発するために必要なリソースが不足している資金提供機関の敷居を下げるために、極めて重要なものです。
9. そのような手段を持つ資金提供機関は、研究評価活動に関する試験的な活動や研究に取り組み、これらの活動から得られたデータや結果を広く公表すべきです。これにより、相互学習を保証し、オープンデータやオープンサイエンスの実践に積極的に貢献することができるようになります。